

シリーズ 新規作物

②いいたて行者ニンニク研究会

5月22日・23日には研究会の事業として、先進地研修会を実施しました。研修会には会員と事務局の16人が参加し、1日目は岩手県の川井村「夏屋ろばた塾」の行者ニンニクと山菜の加工販売を研修。2日目は、秋田県の旧山内村「共林荘」



▲岩手県川井村「夏屋ろばた塾」の直売研修

いいたて行者ニンニク研究会は昨年10月28日に設立。山田猛史会長を中心に24人の会員が、北海道から7～8年生の苗約3万本を導入して栽培しています。本研究会は、行者ニンニクの大産地を目指し、栽培技術の習得や産品開発の調査・研究、会員相互の交流を図っています。

山田猛史会長は「行者ニンニクは収穫まで10年はかかる。もっと栽培面積を増やし、気長に飽きずに栽培をしていきたい」と話していました。

で栽培している行者ニンニクと薬草の栽培、加工販売を研修しました。2日間の研修で共通していたことは、行者ニンニクは「生」で販売するのではなく、刻んで醤油づけにしたり、乾燥させて「粉」にするなど、付加価値を高めた加工販売をしていることです。



▲秋田県「共林荘」行者ニンニク畑で（左手前が高橋社長）

○次号は「いいたてふき研究会」です。

緑の募金 総額25万円

今年4月から5月までの期間で行われた「緑の募金」は、村内の各家庭や事業所、学校などから協力をいただき、村全体の募金総額は25万392円となりました。6月5日には、村内の小・中学校、相農飯館分校の生徒たちが菅野村長を訪れ、みんなの気持ちがかこもった募金を手渡しました。皆さんから寄せられた募金は、県緑化推進委員会に集められた後、さまざまな緑化活動に使われます。また、交付金として各学校にも交付され、緑化運動に使われます。みなさんの善意のご協力ありがとうございました。



▲村長へ募金箱を渡す臼石小の児童代表

入札結果

入札日/平成18年6月20日 (単位:千円)

工事(業務)等の名称 (実施箇所)	契約価格(税込み)	契約業者	完成予定
大火比曽線道路改良工事 (飯樋字岩部地内)	29,190	神尾建設(株)飯館支店	平成19年1月下旬
大谷地団地(48号棟)屋根舗装工事 (草野字大谷地地内)	840	嘉藤塗装店	平成18年8月下旬